

## 令和元年度熊本県農業研究センター果樹関係研究成果発表会開催要領

### 1 趣旨

熊本県における農業試験研究の基本方針では、農業者が将来にわたって夢を描けるよう、国際競争力を見据えた「稼げる農業」の更なる加速化を目指して複合的な取り組みによる持続可能な農業に向けた技術開発を掲げている。この方針に基づき、果樹関係の試験研究機関では、くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定、消費者ニーズに対応した高品質果実の連年安定生産・出荷技術の開発、持続的安定生産のための環境保全型生産技術の開発を進めている。

そこで、果樹に関する研究成果を広く関係者に伝達し、今後の試験研究の方向等について検討するため、下記により研究成果発表会を開催する。

### 2 開催日時

令和元年9月11日（水）13:30～16:45

### 3 開催場所

熊本県農業研究センター果樹研究所研修館  
(宇城市松橋町豊福 2566 TEL : 0964-32-1723)

### 4 主 催

熊本県農業研究センター

### 5 日 程

受 付 13:00～13:30

1) 開 会 13:30

2) あいさつ

3) 成果発表 (13:45～15:40)

(1) 温州ミカン「熊本 EC 1 1」における高品質果実の安定生産技術 (12分)  
常緑果樹研究室 研究参事 三原崇史

(2) 加温栽培ビニール台「肥の豊」における高品質果実生産のための水分管理法  
(12分) 常緑果樹研究室 研究参事 藤澤珠子

(3) カンキツ「みはや」の出荷時期に応じた貯蔵法  
(12分) 常緑果樹研究室 研究員 中村健吾

(4) 「肥の豊」の肥効調節型肥料を活用した年2回の施肥法 (12分)  
病虫化学研究室 研究主任 山元文法

(5) 天草地域特産カンキツであるポンカン、「清見」、「河内晩柑」の温暖化に伴う生育変化 (12分)  
天草農業研究所 研究員 松森優美

(休憩 14:45～15:05) 試食 ナシ「甘太」等

(6) ナシ「甘太」の白一重袋の被袋時期が果実品質ならびに日持ち性に及ぼす影響 (12分)  
落葉果樹研究室 研究参事 岩谷章生

(7) 施設栽培カキ「太秋」は 10 月上旬のビニル被覆により 12 月出荷が可能である (12 分)

落葉果樹研究室 研究主任 平本恵

(8) クリ「美玖里」における雌花の着生が多い優良な結果母枝の資質 (12 分)

球磨農業研究所 研究主任 廣田知己

4) 総合討議(15:40～15:50)

(休憩 15:50～16:00)

5) 現地検討会 (16:00～16:45)

(1) 温州ミカン「熊本 EC11」、加温栽培ヒリュウ台「肥の豊」の生育状況

(2) ナシ新品種「甘太 (かんた)」の特性等について

## 6 参集範囲

果実連、経済連、県果樹技術者連盟、県果樹研究会、県果樹育種研究会、  
県庁果樹OB会、農協、市町村、県関係機関、県地域農業サポーター、  
農業経営同友会